

原子炉利用研究者グループ総会 議事録（案）

1. 日時：平成 25 年 3 月 1 日（金） 12:30~13:10

2. 場所：京都大学原子炉実験所事務棟大会議室

3. 出席者数 31 名

4. 配布資料

議事次第

原子炉利用者グループ平成 25 年予算

原子炉利用者グループ平成 24 決算報告書

原子炉利用者グループ幹事名簿

5. 議事

1) 代表幹事挨拶 海老原充代表幹事

2) 3) 平成 24 年度事業及び会計報告

田中幹事(徐会計幹事の代理)から平成 24 年度の決算報告があり、了承された。

4) 名誉会員の推薦

増永幹事より今年 3 月で定年退官される、柴田先生、小野先生、義家先生、小山先生を名誉会員へ推薦したいとの報告があり、了承された。

5) 新幹事紹介：新幹事の役割分担確認

新幹事名簿が配られ、増永幹事より、「共同利用推進室」室長代理として高宮幹事には参加していただく件についての補足説明がされた後、了承された。

6) 平成 25 年度活動について

増永幹事より 1 月 28 日（月）の前の原子炉利用研究者グループ幹事会で出た意見についての説明があった。

- ・ 共同利用者にも年会費を負担してもらうことで財源を増やしてはどうか
- ・ 宿舍の 2 階の部屋への冷蔵庫の配備に関して

増永幹事より、上記について、特に財源確保については、それなりのシステムが必要になるので今後検討していくつもりとの発言があった。また、原子炉利用研究者グループの予算は人件費等で必要になる可能性があるため、共同利用掛へ働きかけ、実現に向けて努力していくつもりであるとの発言があった。

7).平成 25 年度予算について

田中幹事(徐会計幹事の代理)から平成 25 年度の予算報告があり、了承された。

8) その他

川端教授より、共同利用推進室の設立の経緯と共同利用推進体制の見直しについての趣旨説明があった。

主な見直し点については以下の通りである。

・装置担当者の権限強化

装置担当者の役割をクリアにする。(採択審査前にマシンタイムの調整を行う、マシンタイム決定権を持つ。緊急にマシンタイムが必要になった場合は装置担当者の権限で調整する等)。現在、複数装置担当者がある場合には代表 1 人を決め、この権限を持たせる。

・所内利用の廃止

所員も研究計画を提出して所外の方と同様に審査を受けるようにする。

・複数課題申請の許可

旅費については一部に偏らないよう検討をする。

・課題審査方法の見直し

- ✓ 各課題に対し所外数名、所内 1 名による事前審査を行う。
- ✓ JAEA で行われているもののようなイメージ、今後、予算がつけば電子化も検討
- ✓ また、高宮幹事より産学連携の観点から、企業の方で他の研究機関で産学連携をしている人からの意見を求める場があってもよいのではないかとの意見が出た。これについて、川端教授及び増永幹事より実験所の現状としては、まだ産学連携への体制づくりが進んでいないのでまず方向性を決めたいとの発言があった。

平成 25 年度より、KUR 利用研究者グループ事務局の大川さんの作業は、北村さんに引き継がれることが伝えられた。

最後に増永幹事より原子炉利用研究者グループへの意見の紹介があった。今回紹介の意見自体は現場で対応可能なものであったが、このような些細な意見でも良いので、何かあれば KUR 利用研究者グループ (具体的には幹事の先生方) に意見をしてほしいのとのことであった。

以上

文責：田野、八島、齋藤